

第 6 次小郡市総合振興計画 前期基本計画

検証結果報告 総括

1 はじめに：成果検証の目的・背景

1.1 背景

第 6 次小郡市総合振興計画の前期基本計画を策定以降、地方を取り巻く環境は大きく変化しており、本市もその影響を受けています。従来どおりの施策展開だけでは、持続可能な自治体運営を維持することが困難になると想定され、将来を見据えた舵取りが必要です。

1.2 成果検証の目的と位置づけ

前期基本計画の期間満了にあたり、施策の成果・課題を体系的に検証しました。検証結果を踏まえ、本市の現在地を把握する基礎資料の一つとするとともに、変化の大きい時代における羅針盤として次期後期基本計画を策定し、限りある資源（ヒト・モノ・カネ）の効果的な配分の基盤とします。

2 前期基本計画点検調査の実施状況

2.1 体制

第 6 次小郡市総合振興計画後期基本計画策定委員会を構成する各課長等に対し点検調査を依頼し実施しました。

2.2 調査概要（時期、方法）

実施時期：令和 8 年 5 月

調査内容・方法：前期基本計画の主要施策ごとに、以下の主な項目を照会し、各課での点検を行いました。なお、ペーパーレス化・省力化の観点から、基本計画調査票アプリ（AppSuite）を活用して実施しています。

- ・ 前期で実施できた事例
- ・ 前期で実施できなかった事例、及びその理由
- ・ 成果指標を設定している施策については直近の実績値、要因分析

3 前期基本計画の進捗評価と成果検証

3.1 政策目標ごとの施策展開状況

前期基本計画に盛り込んだ主要施策は合計 142 件（細項目）であり、第 6 次総合振興計画の 5 つの政策目標（章）に沿って展開されました。そのうち 33 件の重点施策があり、それぞれについて成果と課題を検証しました【3.2 重点施策の進捗評価】。

また、前期基本計画において成果指標（KPI）が設定されていた 41 件（主要施策全体の約 3 割）の検証では、「達成」に至った指標は 13 件でした。施策目標（章）ごとの達成状況は以下のとおり分類されました。

（単位：件）

政策目標 （章）	主要施策数		成果指標							
			設定件数・達成率							
		うち 重点 ※		うち 重点 ※	◎達成 100%以上		○一部達成 80%以上～ 100%未満		△未達成 80%未満	
						※		※		※
1 章 安心して住み続けられるまちづくり	22	4	8	2	3		1		4	2
2 章 地域資源を生かした活力あるまちづくり	35	8	10	3	3	1	2		5	2
3 章 支え合い健やかに暮らせるまちづくり	37	8	8	4	2	1	2	1	4	2
4 章 未来社会につながる人づくり	32	10	9	3	3		2	1	4	2
5 章 持続可能な行政経営体制づくり	16	3	6	5	2	1	1	1	3	3
合計	142	33	41	17	13	3	8	3	20	11

3.2 重点施策の進捗評価

前期基本計画において重点施策に位置づけられた主要施策について、政策目標（章）ごとに進捗・課題の検証結果を報告します。

第1章 安心して住み続けられるまちづくり【重点施策】

豪雨や地震等のリスクに備えた防災・減災対策や地域防災体制の充実・強化、カーボンニュートラルや市民主体の地域づくりに向けた環境・社会基盤の整備が着実に進んでいます。一方で市民参画、支援策の充実といった課題が残ります。

主要施策名（重点項目）	前期の成果と課題
1章1節 防災・減災対策の充実 2 流域治水の推進【重点】	成果：先行排水や田んぼダムの取組を推進。出前講座の実施による市民啓発。 課題：周辺自治体への協力依頼を行うも、災害特性の違いから合意形成に課題があり、国県へ要望を行った。
1章1節 防災・減災対策の充実 3 地域防災体制の充実・強化【重点】	成果：防災リーダー養成/フォローアップ研修等の実施による自主防災組織の人材育成及び防災リーダーの知識や技能の向上。 課題：地区防災計画（初動マニュアル）の策定率（目標100%に対し実績60%）など市民の巻き込みに課題。
1章3節 環境保全・循環型社会の推進 1 環境施策の推進【重点】	成果：温室効果ガス排出削減に向け各種施策の実施（省エネ家電製品買換え促進補助金、電気自動車充電設備設置事業）。 課題：カーボンニュートラルに向けた支援策の充実。
1章4節 多様な主体が担う地域づくり 1 市民主体の地域づくりの推進【重点】	成果：まちづくりに関する講座等によって地域コミュニティの基盤維持・活動支援に資する取り組みを実施できた。今後より一層、「みんなですすめるまちづくり条例」及び「まちづくりガイドライン」の趣旨が市民に浸透するよう取り組みを進める必要がある。

第2章 地域資源を生かした活力あるまちづくり【重点施策】

地域資源の活用や都市機能の整備により基盤は着実に強化されているものの、担い手不足・環境変化への対応や民間・地域との連携強化が今後の課題です。

主要施策名（重点項目）	前期の成果と課題
2章1節 都市機能の充実 1 コンパクト・プラス・ネットワークの推進【重点】	成果：立地適正化計画等の策定による居住・都市機能の誘導、地域公共交通計画の策定による交通政策のあり方の明確化等。 課題：小郡駅前土地区画整理事業の未施行区域の事業見直しを含めた検討が必要。
2章1節 都市機能の充実 3 交通利便性を生かした土地利用【重点】	成果：4地区の工業系地区計画と2地区の商業系地区計画を策定し、計9社の立地を誘導。 課題：工場適地が埋まってきている。
2章2節 道路・交通網の整備 2 公共交通の整備（2）地域における公共交通の充実【重点】	成果：コミュニティバスからデマンド型交通に切り替え、利便性の偏り等の課題を解消。 課題：利用が増え、特定の時間帯に予約が集中することによる、利便性の低下や運行等への影響。
2章5節 農業の振興 2 収益性の高い競争力ある農業の推進【重点】 （1）収益性が高く安定的な農業経営の確立	成果：高能率機械（スマート農業機械等）の導入支援による省力化及び効率化を推進。 課題：特産品づくりについては、市特産品（ブランド）化事業を活用されているが、商品の継続性が厳しい状況である。持続性のある商品開発促進が必要。
2章5節 農業の振興 2 収益性の高い競争力ある農業の推進【重点】 （2）地産地消及び食育の推進	成果：学校給食への地元産農産物の提供をはじめ、地域や学校において市民・子どもたちが地元産農産物を学ぶ機会を設けた。 課題：民間活力の導入による「食と農の複合施設構想」については、まずは農業者の販売力を上げる取組み、市民に消費してもらうための販売力を持つ機会、体制づくりが必要となっている。

主要施策名（重点項目）	前期の成果と課題
<p>2 章 6 節 商工業の振興</p> <p>1 商業経営の担い手の育成</p>	<p>成果：ワンストップ相談や創業者支援補助金事業を実施による新たな担い手への支援。</p> <p>課題：創業のワンストップ窓口への相談件数（目標 R5～R8 年度延べ 100 件に対し R7 実績 7 件）など相談件数の伸び悩み。</p>
<p>2 章 6 節 商工業の振興</p> <p>4 企業の誘導及び適正配置</p>	<p>成果：4 地区の工業系地区計画と 2 地区の商業系地区計画を策定し、IC 周辺へ計 9 社の大規模店舗や企業の立地。</p>
<p>2 章 7 節 観光の振興</p> <p>1 観光資源及び地域資源の活用【重点】</p>	<p>成果：七夕プロジェクト事業の実施により、七夕を活用したイベントや情報発信による観光資源の周知。</p> <p>課題：コロナ禍以降の観光スタイルや観光ニーズの変化への対応。</p>

第3章 支え合い健やかに暮らせるまちづくり【重点施策】

地域福祉や保健・子育て分野で基盤整備やサービス拡充など着実な前進が見られる一方で、住民参加の定着や担い手確保といった構造的課題がみられます。

主要施策名（重点項目）	前期の成果と課題
3章1節 地域福祉の推進 1 困りごとに対し包括的に支援する体制の構築【重点】	成果：重層的支援体制整備事業を活用して、多機関協働による包括的な支援体制整備に着手。 課題：包括的な支援体制整備における、関連機関や地域の関わり方について整備途上。
3章1節 地域福祉の推進 2 地域での福祉活動の担い手育成の支援【重点】	成果：民生委員の負担軽減に向け意見書削減、相談時の参考文書の作成・配布。主任児童委員の具体的な活動事例等をまとめた手引きの作成・研修を行った。 課題：民生委員・児童委員、主任児童委員に欠員が生じている。担い手の確保に向け、地域の実情に応じた個別の支援が必要。
3章2節 高齢者福祉の充実 1 地域包括ケアシステムの推進【重点】	成果：地域での支えあいを目的としたボランティア養成市民向け講座を行い 30 名程度の会員登録につながった。
3章2節 高齢者福祉の充実 2 健康づくりと介護予防・フレイル予防の推進【重点】	成果：おごり健康・介護予防ポイント事業を実施し、高齢者の健康づくりや介護予防・フレイル予防を推進。 課題：介護予防・日常生活支援総合事業の一部サービスにおいて、実施を検討するも物価高・人手不足で実施事業者不在。
3章3節 子ども・子育て支援の充実 1 保育環境の充実【重点】	成果：受入確保により令和8年4月1日時点で待機児童を解消した。 課題：転入等により発生が見込まれる年度途中の待機児童への受入れ確保策。

主要施策名（重点項目）	前期の成果と課題
3章5節 健康づくりの推進 1 感染症対策の充実 【重点】	成果：感染症発生時に備え、衛生用品の適正管理。また、「小郡市新型インフルエンザ等対策行動計画」を令和8年1月に改定。
3章5節 健康づくりの推進 2 保健サービスの充実 【重点】	成果：特定健診・がん検診・予防接種の受診促進と保健指導、啓発・地域支援を強化した。
3章5節 健康づくりの推進 3 保健・医療・福祉・介護の連携強化 【重点】	成果：KDB等を活用し、若年・特定健診受診者の重症化予防と75歳以上の課題分析・保健事業を実施。

第4章 未来社会につなぐ人づくり【重点施策】

教育・人権同和教育・生涯学習・文化・スポーツ分野で基盤整備と新たな取組が着実に進展しており、全体として地域の教育・文化力は強化されています。一方で、一部施策では地域間や世代間での実施状況等に差があるなど、事業の多様化・継続性確保などが今後の課題です。

主要施策名（重点項目）	前期の成果と課題
4章1節 小・中学校教育の充実 1 「未来を拓く力」を育む教育の推進 （1）未来に向かう心の育成【重点】	成果：小4・中1全員にSC面談を実施し相談体制を強化。SSRをR7に4校、R8に3校設置。 課題：「志」や「願い」「目標」を大切にした主体的活動の価値や子どもの意見表明・社会参画の考え方をさらに浸透させる必要。SSRの拡充による支援体制整備。
4章1節 小・中学校教育の充実 1 「未来を拓く力」を育む教育の推進 （2）生きて働く知の育成【重点】	成果：学力調査等の分析・共有の結果、子ども主体のICT活用や授業が増加。 課題：多様性をする柔軟な教育課程編制の考え方を広げる。
4章1節 小・中学校教育の充実 1 「未来を拓く力」を育む教育の推進 （3）健康で逞(たくま)しい体の育成【重点】	成果：体力時向上プランの充実への支援、引き渡し訓練の好事例の共有、大雨に係る安全確保の基本的な進め方(指針)の見直し及び周知 課題：学校と地域が連携した防災教育の充実
4章1節 小・中学校教育の充実 2 地域とともにある学校づくり【重点】	成果：モデル校区である立石小・中学校区において、義務教育9年間を見通したカリキュラムの策定及び地域と協働する地域とともにある小中一貫校を開校することができた。 課題：地域ぐるみで進める小中一貫教育の考え方の横展開。
4章1節 小・中学校教育の充実 3 ICT活用力の育成【重点】	成果：生成AI活用の教育DX研修、市教育DX推進・C4th活用委員会の開催、民間連携によ

主要施策名（重点項目）	前期の成果と課題
	<p>るプログラミング教育を実施。</p> <p>課題：AX 社会に対応するための AI 活用に係る教員研修、指導体制整備充実</p>
<p>4 章 1 節 小・中学校教育の充実</p> <p>9 安全快適な教育環境実現（3）学校給食センター建設の推進 【重点】</p>	<p>成果：PFI 方式により、学校給食センターの建設及び運営を実施。安全で安心な給食提供体制の確立。</p>
<p>4 章 3 節 人権・同和教育の充実</p> <p>1 一人一人が大切にされる学校づくり</p>	<p>成果：各種研修会を開催することにより人権問題に対する認識を一層深めることができた。また、差別を見抜き、社会をつくる一員として、人権課題に自分事として切実に関わることができる教育を展開した。</p> <p>課題：若年世代の増加や教育経験の差が大きく、校内研修の内容構成が難しいとの声があり、教職員総体として人権・同和教育推進計画に基づく取り組みを進める必要がある。</p>
<p>4 章 4 節 生涯学習の充実</p> <p>1 学習機会、活動支援の充実 【重点】</p>	<p>成果：女性再チャレンジ支援事業により女性の活躍機会の創出、高齢者はつつ教育事業により高齢者が社会参加やボランティア活動で学びを活かす機会の創出。</p> <p>課題：学習ニーズを踏まえた多様な講座の実施。また、講座の長期化や参加者の固定化とならない仕組みづくり。</p>
<p>4 章 5 節 文化財の保護活用の充実</p> <p>2 文化財の活用の推進 【重点】</p>	<p>成果：センターの Wi-Fi 環境整備、デジタルサイネージ設置など、情報発信環境の整備。</p> <p>課題：センターのホームページ改修。</p>
<p>4 章 6 節 スポーツ・レクリエーションの充実</p> <p>1 スポーツ環境の整備・充実 【重点】</p>	<p>成果：「小郡市新体育館建設基本設計」に基づく「小郡市新体育館アリーナ棟実施設計」が完成。</p>

主要施策名（重点項目）	前期の成果と課題
	課題：体育館の代替施設の確保並びに新体育館の運営方法の検討。

第5章 持続可能な行政経営体制づくり【重点施策】

市民参画や財政・行政運営、デジタル化の各分野で着実な基盤整備が進む一方、一部業務の電子化未実施などの課題が明らかになりました。

主要施策名（重点項目）	前期の成果と課題
<p>5章1節 市民参画によるまちづくりの推進</p> <p>1 市民参画の推進【重点】</p>	<p>成果：車座トーク・出前トークやワークショップ、パブリックコメントを様々なテーマ毎に実施するなど、市長が直接市民の声を聞く機会を増やすことができた。また、市長への手紙を紙媒体だけでなく HP 上からも受け付け、より意見を投稿できる仕組みとなっている。</p> <p>課題：ワークショップや各種審議会等に参加いただく方が一部で固定化しており、より多くの方に参加していただけるよう、公募方法や団体からの推薦依頼方法について検討が必要。</p>
<p>5章2節 健全な行財政運営の推進</p> <p>1 健全な財政運営【重点】</p>	<p>成果：歳入に見合った予算編成と市税や地方交付税等の収入増などによって財政調整基金の取崩しに依存しない財政運営を行うことができた。</p> <p>課題：時限措置のある地方債の事業が推進されたことなどで市債の借入額が償還額を超える年度（令和6年度）もあった。</p>
<p>5章4節 デジタル化の推進</p> <p>1 自治体DXの推進【重点】</p>	<p>成果：基幹システム標準化の推進。行政手続きのオンライン化の土台構築。各種デジタルツールの導入。</p> <p>課題：既存文書等の電子化。手続きの網羅的なオンライン化。システムの包括的なクラウド移行やネットワークモデルの変更への着手（基幹システム標準化にリソースが割かれたことや、既存機器等の更新時期等の調整が困</p>

主要施策名（重点項目）	前期の成果と課題
	難であったことによる）。

3.3 定性分析と定量分析：成果検証から見えた課題と主要施策実践例

各課の点検から浮かび上がった課題として、行政主導による基盤構築から、市民主体の地域力強化への移行の難しさがあります。

例えば、防災の分野においては、地域強靱化計画の策定や流域治水のインフラ整備は進んだ一方で、「地区防災計画（初動マニュアル）の策定率」は目標 100.0%に対し実績値 60.0%に留まっており、市民参画の定着が課題として顕在化しています。同様の傾向は、多様な主体が担う地域づくり（自治会・校区協働の活性化）など、全庁的な分野で見られます。

背景としては、行政が担う基盤整備（制度整備・施設整備等）は概ね計画どおり進捗した一方で、市民の行動変容を要する施策・指標では目標と実績に差がみられる状況です。

4 おわりに：

4.1 後期計画策定における活用

後期基本計画の策定に向け、検証から浮き彫りとなった課題や施策の実施状況は、「選択と集中」を行うための重要な判断材料です。単に達成・未達成を整理するにとどまらず、検証結果を踏まえて各分野の課題ごとの施策の必要性を分析し、実効性の高い計画と実行体制の構築を目指します。